

昭和「100年」関連施策実地レポート

このコーナーでは、内閣官房「昭和100年」関連施策推進室の室員が、各地で開催されている関連施策を訪問し、感想を含め皆様へご紹介します。

今回の訪問先は、九州歴史資料館です。

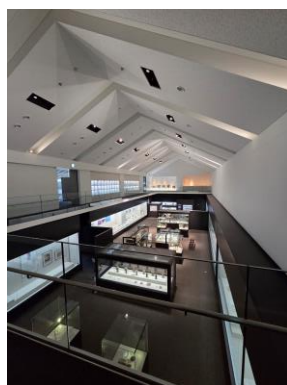
九州歴史資料館 令和8年度九歴講座第1期テーマ「昭和100周年」
第2回「昭和100周年と吉田増蔵」

URL：[令和8年度「九歴講座」のご案内 | 九州歴史資料館](#)
[令和8年度九歴講座（4月～6月）チラシ.pdf](#)

九州歴史資料館（福岡県小郡市三沢5208-3）は、福岡県立の歴史系博物館。福岡県指定史跡三沢遺跡に隣接し、大宰府史跡の発掘調査をはじめとして、多角的な調査や研究を進められており、展示室では、これまでの調査研究成果を反映する貴重な文化財が公開されています。お伺いした際には、4つの展示室で、常設展示や特集展示等を拝見することができました。ガラス越しに遺構を覗き込むことができる床下展示はとても臨場感があり、小学校低学年くらいの少年が興味深そうにじっと眺めていたのがとても印象的でした。当館は、以前は太宰府に設置されていたとのこと。「令和」の由来である梅花の宴（「万葉集」巻五序文）を催した、当時の大宰帥である大伴旅人についても、その生涯と業績についてわかりやすく解説したパネルが展示されており、ゆっくりと学び多き時間を過ごすことができました。



九州歴史資料館



展示風景

◆九州歴史資料館

当館では毎月第2土曜日に、「九歴講座」を開催しています。今年度の第1期（4月～6月）テーマは「昭和 100 周年」。今回は5月9日（土）開催の第2回「昭和 100 周年と吉田増蔵」にお伺いしました。

講師はみやこ町歴史民俗博物館学芸員の井上信隆様。同館では吉田増蔵についての企画展が開催されています（URL：[昭和 100 周年・町制 20 周年記念特別展【「昭和 100 周年」と吉田増蔵】 - みやこ町役場](#)）。こちらの企画展にもお伺いいたしましたので、そちらの実地レポートもご覧ください。



展示風景



講座の様子

井上様のご講演では、みやこ町の歴史や地元出身の先人のご紹介に続き、吉田増蔵の功績や生涯についてお聞きすることができました。

吉田増蔵は現在の福岡県みやこ町勝山の出身。実兄である健作の影響もあり、勉学に勤み、当地に開設されていた漢学の私塾・水哉園で学び、漢学の才に秀で、18歳で上京し共立学校（現在の開成中学校・高等学校）にて英語を学び、翌年には豊津尋常中学校（現在の育徳館高等学校）に入学し、24歳でアメリカに渡ったとのこと。その後、京都帝国大学文学部を経て45歳で奈良女子高等師範学校（現在の奈良女子大学）の講師、大正7年（1918年）54歳で森鷗外と邂逅。当代随一の漢学者である森にその漢学の才を認められ、大正9年（1920年）に天皇・皇族等の実録の編修などを行う部署である宮内省図書寮の編修官に任じられ、トップの「図書頭」である森を補佐し、元号案作成を行うことになったとのこと。森鷗外は国内外での使用例のない元号を考案するため、これまでの240余りの元号の考証を開始しますが、病状悪化により、その大任は吉田に引き継がれ、森没後、吉田はその遺志を継ぎ、『元号考』を完成させます。その後、吉田は宮内大臣からの内命を受け、大正の次の新元号を考案。「昭和」は、古代中国の歴史書『書経』の一節「百姓昭明、協和萬邦」に拠り、世界平和の願いが込められているとのこと。吉田は、上皇陛下のご称号「継宮」・お名前「明仁」なども考案します。

◆九州歴史資料館

吉田は、後に「日本近代製麻業の父」と呼ばれた兄・健作から大きな影響を受けたと思われます。健作は27歳でフランスに渡り、病を押して現地で製麻の技術と理論を学び、日本の殖産興業に尽くしました。揺れ動く世界情勢の中、兄弟ともに、志高く、自己の栄達よりも、国の繁栄に専心し職務に勤しむ姿に、当時の多くの日本人の真摯な生き様を象徴しているように感じ取ることができました。「昭和」の2文字には、アメリカの地で学び見聞を広め、世界の中の日本を見つめたその視点で日本の行く末を案じた吉田の願いが込められているように思われます。同郷の先人が2文字に込めた想いを100年後の令和に生きる私もしっかりと受け止め、引き継いでいきたいと思いました。

2時間の講座では、100名ほどの方が熱心に講師のお話に聞き入り、ときに感嘆の声を漏らし、ときに笑いに包まれ、和やかに楽しい学びの時間を過ごされていました。「昭和」が終わったとき、私は福岡市の中学校に在籍していましたが、吉田の功績は聞いたことがありませんでした。当時は典拠も充分でなく、学校で教わる状況ではなかったのかもしれない。昭和100年を機に郷土の先人の功績を改めて学び振り返る良い機会をいただくことができました。講師や当館ご担当者をはじめ、関係者の皆様に心より感謝いたします。

当館では、九歴講座のほか、九歴ゼミやイベント・体験教室も実施しています。

URL: [講座・イベント | 九州歴史資料館](#)

[教育普及 | 九州歴史資料館](#)

会期：九歴講座は年12回。

今回は6月13日（土）「昭和の幕開けと福岡県」

主催：九州歴史資料館

住所：福岡県小郡市三沢5208-3